

# KEY わーど

第 91 回

## 大阪の南北軸と百貨店の物語

# 壮麗な店舗を見あげ、お買い物から文化催事まで

この夏、天神橋筋6丁目の大阪くらしの今昔館で開催される“大大阪”の時代と文化の展示会の準備で、手元の資料をあれやこれや眺めているうち、むかし、調べたり聞いたりした記憶がよみがえってきた。

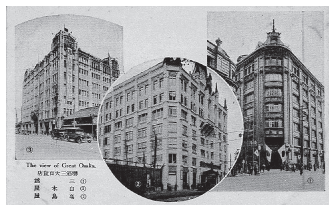
たとえば「堺筋三大百貨店」と題された一枚の絵はがき。現在の百貨店の多くは、ターミナルなどに集まっているが、御堂筋が建設されるまで大阪のメイン・ストリートは堺筋であり、三越、白木屋、高島屋、松坂屋などモダンな外観の百貨店が並ぶ“百貨店ストリート”だった。

高麗橋にあった三越は、松阪の商人・三井高利が江戸に創業した呉服店「越後屋」が源流で、元禄4(1691)年に大坂店を開いた。阪神・淡路大震災の被害もあって、平成17(2005)年に惜しくも大阪から撤退したが、大塩平八郎の乱で店が全焼したり、錦絵「浪花百景」にも「三井呉服店」として描かれるなど大阪での歴史も古い。

記憶に残るのが大正6(1917)年竣工の地上7階地下1階のルネッサンス式建築の店舗である。大正14(1925)年、店の屋上で大阪放送局(現NHK大阪放送局)が仮放送を開始した建物で、月ごとの営業案内「大阪の三越」(表紙図版)を有名な杉浦非水(1876~1965)がデザインするなど、心齋橋の大丸と並び、華やかな大大阪モダニズムを象徴する。

大正10(1921)年、堺筋と備後町の角に竣工した白木屋は、現在の東急百貨店につながる。東京から来阪し、明治26(1893)年に心齋橋筋、大正9(1920)年から14(1925)年までは阪急梅田駅ビルにも出張店を出した。備後町の新館は尖塔が特徴的な8階建てで、周囲の高層建築群とともに特色ある都市景観をつくる。昭和7(1932)年に閉店するなど短命だったが、床を木タイルばりにして土足で入店できた日本初の百貨店とされる。

高島屋は京都で創業し、明治31(1898)年に心齋橋筋2丁目に大阪店を開く。大正11(1922)年に堺筋と長堀通りの交差点の二筋ほど南に移転した。



絵葉書  
堺筋三大百貨店 三越 白木屋 高島屋  
[大阪名所絵葉書帖](2)  
大阪市立中央図書館蔵

歌川國貞/画 三井呉服店(浪花百景)  
大阪市立中央図書館蔵



堺筋にそびえる白木屋の偉容。  
「大大阪画報」  
(大大阪画報社、昭和3年刊)より。



昭和7(1932)年、白木屋で開催された第10回春陽会の展示会ポスター。絵は岡本一平。

戦後、丸善石油があった場所である。昭和7(1932)年、南海ビルディングの竣工で南海難波駅の場所に南海店を設け、昭和14(1939)年、長堀店を廃止して南海店と統合し、現在の大阪店となったが、長堀店では、有名な画家の個展や江戸時代の文学者や偉人を顕彰する展示会などが開かれている。

さらに昭和13(1938)年、名古屋から明治初期に大阪に進出していた松坂屋が、日本橋筋3丁目に壮麗な近代的店舗を建設した。現在の高島屋東別館の建物がそれにあたる。堺筋に面した4店目の百貨店だ。しかし、ミナミと新世界をつなぐ中間に位置しながら交通に恵まれず、私が小学校の夏休みの作品展を家族と友だちで見に行ったのは、昭和41(1966)年に移転したばかりの天満橋の松坂屋だった。

百貨店と美術の歴史を調べていて、複数の関係者から聞かされた話がある。御堂筋と地下鉄完成で大阪の南北を結ぶ中心軸が堺筋から御堂筋に変わった。その変化に機敏に対応した高島屋は堺筋の長堀店を閉店し、御堂筋線と南海のターミナルである難波に経営を集中させる。それが英断だったという話である。

堺筋と御堂筋の間は、徒歩数分の約500メートル。短い距離だが商売には大きな影響がでる。考えてみれば当然の話だが、関係者の話しぶりが一様に確信に満ち、自分がその時代に生きていて、まるで見てきたようで面白かった。

最近、広大な駐車場になっている旧長堀高島屋のあった付近を通るたびに、“大大阪”時代の堺筋のイメージを夢想する。しかし、インバウンドで押し寄せる観光客と大型バスの車列に圧倒され、高層の百貨店が並んでワクワクするモダン空間であった往年の堺筋を、うまく思い描くことができない。“大大阪”の時代は遠のくばかりなのだろうか。

### 筆者プロフィール

橋爪 節也 はしづめ せつや

大阪大学総合学術博物館前館長/大学院文学研究科教授。1958年、大阪生まれ。東京芸術大学大学院修了。大阪市立近代美術館建設準備室学芸員を18年間つとめ現職。専門は日本美術史。展示会では「没後200年記念木村兼葎堂一なにわ 知の巨人」「北野恒富展」「没後80年記念佐伯祐三展」などに携わる。編著に「大大阪イメージ増殖するマンモス/モダン都市の幻像―(創元社)など。